

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら実施した主な事業

◇けんぱちくん体操の作成（リーフレット参照）

居宅でも運動が行える環境を整えることにより、高齢者の活動自粛に伴う要介護状態への移行を防ぐことを目的に「けんぱちくん体操」のリーフレットと動画のDVDを作成。

・普及啓発方法

- リーフレットの配布、ホームページ、広報へ掲載、YouTube や Facebook に動画を掲載。
- 今年度は、介護予防サポーターや五感健康法推進員に体操を指導し、DVDを配布。
- 次年度は、地域の通いの場（サロン等）で活用できるよう「けんぱちくん体操」を体験してもらったサロン主催者にDVDを配布予定。また、出前講座などでも周知をしていく予定。

◇介護予防事業における感染症予防対策の徹底

介護予防教室は人数制限（1人当たり7㎡確保）・時間短縮・換気・物品消毒を徹底して実施。参加者及び従事者の体調管理を徹底し、2週間の健康チェックを義務付け、体調不良者は休むよう指導を行った。

- 「あんきなくらぶ」は1つの教室を2グループに分け、隔週半日交互に参加で実施。（昼食なし）教室に参加しない週の方には、従事者より電話・訪問等で状態を確認。
- 「元気アップ教室」は、定員数、時間を短縮、口腔や栄養指導の内容を変更し実施。
- 「水中運動体験教室」は、人数制限、回数制限および予約制で実施。
- 「介護予防サポーター養成講座・フォローアップ研修」は、地域で活動しているサポーターやグループの代表者などに受講者を限定して実施。

◇会議や研修会をオンラインで開催

3密を避けるために、オンラインを取り入れて会議や研修会を実施。開始当初は機材や環境がそろわない事業所もあり、オンラインと現地参加と同時に行うハイブリッド式も取り入れたが、最近では各事業所オンラインでの参加が可能となっている。

- ケアマネ部会、主任ケアマネ連絡会、虐待防止講演会・地域ケア会議をオンラインで開催。移動時間もなく参加しやすいとの意見もあり、今後も取り入れていく予定。
- 認知症家族の会を現地参加とオンライン参加のハイブリッド開催（オンライン参加1名）。認知症カフェをオンライン開催（1月5名参加、平均年齢71歳）。認知症家族の会では、普段遠方で来られない方が参加できたと大変喜ばれた。



認知症カフェで音楽療法をオンラインで行う様子

(参考) 新型コロナウイルスに関する相談件数

(令和2年2月～12月分)

内容	件数
自覚症状、受診方法	75
経済対策、生活支援	63
感染者の発生状況	44
コロナ疾病、予防方法、3密対策	29
イベント、行事の中止等	18
噂話、風評	15
広報、周知	11
マスク、消毒液等の不足	8
学校等の対応	5
その他	142
合計	410

*受診方法については健康医療課、生活福祉資金の貸付については社会福祉協議会、学校の対応については学校教育課など各課で対応しています。